

# つばめ会会報

## “Slope”

第18号

### 目次

- 幹事長の挨拶 円井基史(19期)
- 新幹事長の挨拶 岡部健志(21期)
- 前会長の挨拶 高橋秀行(2期)
- 会長就任の挨拶 浅野昭(12期)
- 第18回 OLT 杯報告
  - OLT 杯運営報告 前田裕太(24期)
  - OLT 杯走りきって 小山温史(27期)
  - OLT 杯に参加して 菊沢恵三(22期)
- 世界トレイルオリエンテーリング選手権大会参戦記 田中淳一(23期)
- 愛知インカレロング開催報告
- 部長の言葉 松井弘毅(26期)
- コーチの言葉 坪居大介(24期)
- 新幹事自己紹介
- 慶事のお知らせ
- 2005年度つばめ会活動報告
- ML・ホームページについて
- 編集後記

## 幹事長の挨拶

円井基史 19 期

暑かった夏も、ようやく涼しくなってきた、と思ったら、いつの間にか木々の葉が落ち出し、夜風が冷たい季節になってきました。月日が経つのは速いものですね。

今年の夏に、オリエンテーリングの世界選手権が、日本は愛知にて行われました。会場またはインターネット上で観戦された方も多かったのではないのでしょうか。日本オリエンテーリング界の起爆剤となるかと期待されたこの世界選手権。競技・地図等の運営面では大きな問題もなく、それなりの評価を得たと言えます。また日本代表選手は、これまで厳しかった予選通過の壁を次々と越える活躍を見せました。しかしながら、一般大衆へ向けての普及面では、メディア等への露出が少なく、多方面への波及効果は期待ほどではなかったように感じられます。この大きな山場を越えた日本オリエンテーリング界が今後どのような方向に進んで行くのが注目です。

10月2日には、OLT杯が神奈川県「菜の花台」にて行われました。今回は神奈川県地域クラブ、サンスーと共同運営で、SI（電子パンチ）が初めて使用されました。OLT杯を獲得したのは若干2年生の小山温史選手（27期）。この小山選手、高校からの経験者ですが、最近成長著しく、その活躍は目を見張るものがあります。先の世界選手権の併設大会で、M21Aクラスの総合優勝を飾りました。さらに、東日本大会 M21A でも優勝し、見事今年度の全日本選手権（M21E）への参加資格を射止めました。

成長株つながりでは、今年のOLT杯の実行委員長を務めた前田裕太選手（24期）も注目すべき選手です。千葉大 OLC 杯 ME で見事優勝（そして小山選手が2位）。日本ランキング指定大会でOLTのOB・OGが優勝したのは初めてではないでしょうか。日本ランキングも現在12位と大躍進です。次の全日本選手権 M21E での、前田、小山両選手の活躍が楽しみです（私も負けられませんね）。

この原稿が上がる頃には、インカレロングが終わっています。果たして、OLTの皆さんはどのような活躍を果たしたのでしょうか。こちらも楽しみです。

つばめ会の近況としては、私の代に近い会員の結婚の報告が、ちらほら聞こえてきます。また、なにやらロードレーサー（自転車）が熱いとか。そしていよいよ総会の時期ですが、今年で幹事会が入れ替わります（幹事の任期は2年）。新生幹事会は如何に。

私も幹事長の大役を降りることとなります。なにぶん、マイナー、実態が分からない、怪しい、そういう評判の大きかった「つばめ会」。少しは親しみやすいものになったのでしょうか。幹事長の挨拶も、今回にて最後となりますが、これからもつばめ会およびOLTの皆さんとの良い関係は続けていきたい、と意思表示をしておきましょう。では、2年間、ありがとうございました。

## 新幹事長の挨拶

岡部健志 21 期

今年もあと一ヶ月となり、冬の訪れを感じさせるように寒くなってきました。

今年をつばめ会総会から幹事長を引き受けることになりました 21 期の岡部です。至らない点もあるかと思いますが 2 年間よろしく願いいたします。

つばめ会は他の OB 会や同窓会と同様に、会員同士の親睦、ならびに現役部員の活動への支援を目的としています。このうち現役部員の活動への支援についてはインカレ広告の掲載、大会へのサプリメントの差し入れ、OLT 杯への賞品授与などを毎年行っています。会員同士の親睦については名簿の管理、発行、メーリングリスト、ホームページの運営、会報 (Slope) の発行を行っており、これらの活動については今後も引き続き行っていきます。

幹事長になるにあたり、改めて OB 会の存在意義を考えてみました。OLT を卒業し、大学を卒業するとかつての仲間たちとは離れ離れになってしまいます。もちろん同期をはじめとしてお互い連絡を取ることはありますが、他の代とのつながりが薄くなり時期を追うごとに連絡が途絶えることが多いのではないのでしょうか。そんな時、OB 会があれば名簿から連絡先もわかりますし、OB や現役の近況も知ることができます。OB 会はずっと OLT の仲間とのつながりを保つのに大きな役割を果たすことができると考えています。

一方で、今年 24 期がつばめ会に加わりましたが、つばめ会そのものの範囲が非常に大きくなってきています。これまでは核となる世代がつばめ会を運営し引っ張ってきましたが、今は一部運営に携わる人を除いてつばめ会との接点がほとんど無い、という人が大勢を占めています。つばめ会の存在が薄くなっていることも否めません。

今一度会員同士の親睦、という目的に立ち直り、多くの会員に会員同士の親睦の場を提供し、会員の役に立つようなつばめ会を目指していこうと思います。みなさんからも「つばめ会はこうした方がいいのでは」「こういうことをしてほしい」などつばめ会に向けて要望、意見ありましたらぜひご連絡ください。

また、これらの目標を目指して活動していくには 1 人では限度があります。幹事のみなさんには個々の業務を行ってもらうことはもちろん、これから末永く続いていくつばめ会の基盤を改めて構築するための協力をお願いいたします。

つばめ会をさらにより良くしていくため幹事一同取り組みますので、2 年間よろしく願いいたします。

## 前会長の挨拶

高橋秀行 2期

初代会長の高橋秀行です。

長年務めて参りましたつばめ会会長を勇退することとなりました。まだまだ続けて欲しいとのありがたいご意見もあったようですが、つばめ会発足以来、幹事会メンバーが年度ごとに代わりつつ中で、会長だけは同じということがつばめ会で形骸化されてしまうのはよろしくないと思い、このたび新会長の選出をお願い致しました。

新会長にはつばめ会の立ち上げに多大な貢献をしてくださった浅野昭さんが引き受けてくださることとなりました。次期会長にとてもふさわしい方が選出されてとてもよかったですと思っています。浅野さん、よろしくお祈いします。

今までを振り返りますと、会長として就任したことにより、今まで私の知らなかった東工大 OLT の空白期間の穴埋めができ、その後約 8 年間のつばめ会任期中のさらなる発展を共に共有することができました。このような機会を与えて頂きとても感謝しています。私自身関西在住ということもあって、初めて 3 年前の総会に参加したときにはその事実を大岡山キャンパスにてこの目で確かめることができました。渡戸氏との 2 人だけの創設当時にはとても思いも寄らなかったことで感無量でした。

今回会長職を退きますが、引き続きつばめ会の一員として参加させて頂きたいと思っています。今後ともよろしくお祈いします。

## 会長就任の挨拶

浅野 昭 12期

今年度より新会長を仰せつかりました浅野 昭(12期)です。

まずは、これまで長年にわたり、初代会長を勤め上げられた高橋 秀行氏に厚く御礼申し上げます。

わたしは、このつばめ会の立ち上げに関わった一人ですが、まさか 12 年後にわたし自身、こんな文章を書くことになるなんて夢にも思いませんでした。それも、これまで数え切れない多くの方が、このつばめ会の発展に努力して頂いたからであります。本当にありがとうございます。

この会におられる方は、一度はオリエンテーリングというものに惹かれて集った仲間。同期の交流はもちろんのこと、現役学生時には重ならなかった世代や、現役学生とのふれあいも楽しいものです。つばめ会がみなさんの卒業後の生活に、彩りを加えることになれば幸いです。

最後に、つばめ会会員みなさまのご健康と、ますますのご活躍をお祈りいたしまして、会長就任の挨拶とさせていただきます。

# OLT 杯運営報告

前田裕太 24 期

ご承知の通り、今年度の O L T 杯は先日 10/2(日)に神奈川県秦野市「菜の花台」にて開催いたしました。13 歳の中学生から 78 歳の老人まで、北は新潟から西は広島まで、日本全国 200 人以上もの方々の申込をいただき、盛大に開催することができました。東工大つばめ会からも多数の方々にご参加いただき誠にありがとうございます。

まず成績に関してですが、O L T 杯の成績は公式ホームページ(<http://oltcup.hp.infoseek.co.jp/>)に掲載しておりますので、ここでは表彰対象者のみ再掲いたします。

## O L T 杯クラス

- 1 位 小山温史 (2 年) 0 : 48 : 42
- 2 位 羽賀岳尋 (3 年) 0 : 55 : 30
- 3 位 北崎茂 (4 年) 0 : 58 : 21

## 新人クラス

- 1 位 武藤 貴昭 0 : 53 : 36
- 2 位 栗田 俊輔 0 : 58 : 49
- 3 位 齋田 篤 1 : 01 : 40

## つばめ杯クラス

- 1 位 菊沢恵三 (22 期) 0 : 53 : 43

O L T 杯クラスでは、今年に入って成長の著しい小山選手が、優勝設定の 60 分を大幅に破り、テレビン・コースをほとんど覚えた状態で行なった前田の試走タイムの 46 分にもあと 1 歩まで迫る好タイムで他の選手を寄せ付けず圧勝。小山選手は昨年度は伸び悩んでいましたが、今年に入ってから 8 月の世界選手権で M21A 総合優勝、10 月の東日本大会では見事優勝して全日本 E 権獲得と、このところ急激に力を伸ばしてきており、念願の東工大 O L T 初のインカレチャンピオン誕生に向けて今後の活躍が期待されます。

2 位には足の速い羽賀選手が入り、3 位には昨年度インカレ団体戦メンバーの北崎君が入って健在ぶりを示しました。ただ、ロングセレ 11 位の柴本選手が 6 位、同じくインカレロングエリートの高瀬選手が 70 分超の 12 位、入賞の期待された 2 年生の村上巧選手が病気で欠席と、5 人のインカレロングエリートを誇るクラブの会内杯としては 2 番手争いのレベルは今ひとつ低かったように思います。

1 年生に関してはまだこの時期では未知数の部分が多いですが、割とまとまなタイムで帰ってき

た選手が多かったようです。優勝タイムの 53 分もこの時期の 1 年生としては妥当なラインではないか  
と思います。

つばめ杯クラスでは現役時代に O L T 杯では結果を出せなかった菊澤選手が優勝。現役 2 位を破っ  
ての優勝は 4 年ぶりとなります。

今回の O L T 杯の運営には大きく 2 つの特徴がありました。まず 1 つはオリエンテーリングクラブ  
サン・スーシの方々にご協力をいただいたこと。これに伴い、地元秦野市の後援、オンデマンドマッ  
プ、電子パンチングシステムの導入が実現し、O L T 杯としては極めて高い水準の運営が可能となり  
ました。ご協力いただいたサン・スーシの方々には頭が下がる思います。

2 つ目の特徴は、冒頭でも書いた通り、申込者数が 200 人を超えたこと。これは恐らく O L T 杯史  
上初なのではないかと思えます。要因としては、電子パンチングシステム、オンデマンドマップ、サ  
ンスーシの協力いただいたことによる参加者からの信頼の向上、長年にわたり毎年恒例で開催してき  
たことによる O L T 杯の知名度アップ、他の行事と重ならなかったことなど、いろいろな要因がある  
かと思えます。

これだけ多数の方々にご参加いただけたことは運営者として嬉しいことですが、一方で日本全国 200  
人の方々を相手にするというのは大変な重圧でもありました。特にぼくたちには 2 年前の東工大大会  
プレ練習会で不成立を出した前科があるだけに、もし今回また不成立が出たら、という不安と格闘  
する毎日でした。それだけに今回は思いつく限りのあらゆる不成立防止策を何重にも施しました。最  
後の 2 週間くらいは資材探しと関係者間の連絡に追われ、睡眠時間 4 時間切りが当たり前の過酷な生  
活でしたが、どんなに忙しくてもいちばん重要なことを見失わないように、コントロール・地図関係  
のチェックをはじめとした最重要事項に集中的に力を注ぎ、他の 24 期の人たちの助力もあってどう  
にか無事に乗り切ることができました。

一番の反省点としてはコース途中の給水所の水が足りなかったことが挙げられます。これは過去の  
資材リストの数字をそのまま何も考えずに使ってしまったのが原因であり、当日の晴天・高温のコン  
ディションと参加者数から計算してもっと多く用意する必要がありました。この反省は今後のオリエ  
ンテーリング関係の様々な運営の場で生かしていきたいと思えます。

最後に、O L T 杯の運営にあたりまして様々なアドバイスを頂きました O B の方々に厚く御礼申し  
上げ、報告とさせていただきます。

## OLT杯走りきって

小山温史（27期）

久しぶりのレースだったのですが、楽しく走ることができました。運営者のみなさま運営ありがとうございました。

去年後期に体を壊して以降、レースの大半で結果がのこせず、つらい1年となってしまいました。今年は去年のように悔しい1年にしないをモットーにがんばってきました。ただ、体調を悪くしやすいのでなかなかうまくいかないのですが、しかし、そのおかげもあって今年度はそれなりの結果を残せるようになり今回のOLT杯優勝にもつながったんだと考えています。

さてレースの方に関してですが、タフだと思っていたわりにはそこまでではなかったなと言うのが率直な感想です。例年他大の会内杯に比べて短いOLT杯ですが、今年はさらに短くて驚きました。コースとしても簡単で体力がものを言う感じで、未だにOLがへたくそな自分向きのコースだったのではないのでしょうか。大きなミスをする事なく回って回ることができ優勝できたのですが、一方で課題がたくさん見えてきました。同じ学生の今井さんとは実力差を見せ付けられてしまいましたし。まだまだ、精進していきます。

この文章を読んでいるころにはもうインカレロングが終わって、結果も分かっているでしょう。どうなっているかわかりませんが、OLTのエースとして恥じない走りをしたいと思います。また、自分の最終的な目標はインカレリレーで3位以内に入ること。OLT一丸となってみんなでがんばっていききたいです。

## OLT杯に参加して

22期 菊澤恵三

一昨年は運営で参加し、去年は別用で参加できず今年初めてつばめ杯クラスを走りました。毎年やっているとはいえ貴重な実践トレーニングの機会を与えてもらえるのは有難いことです。OB杯は本命の人達が不参加ということでしたが去年よりも多くの方々が参加されていて賑わっていたと思います。

レースの方はぱっとしない今年の状態のまま（今年はどうも技術的にモチベーションが上がらない）で、大きなミスは1番くらいであとは漫然と走りました。やっぱりOLはミスするくらいスピードあげないと面白くないと再認識しました。つばめ杯クラスで一位になりましたが気持ちは来年はとれるか不安という感じです。でも今後モチベーションを復活させて連覇を狙っていききたいですね。

今回参加して久しぶりに現役やOBの人と話せたのは有意義でした。今回参加出来なかったOBの方々も是非来年は参加してほしいです。私の連覇を阻止して下さいね。

最後になりますが運営してくれた24期とサンスーシの方々、ありがとうございました。とても満足のいく大会でした。東工大OLT杯の知名度も上がったのではないのでしょうか。短いですがこのへんで。

# 世界トレイルオリエンテーリング選手権大会参戦記

23 期 田中淳一

2005 年 8 月 9 日～12 日と四日間に渡り、トレイルオリエンテーリング(トレイルオリエンテーリングの説明についてはおまけを参照)の世界選手権対大会が行われ、それに参加してまいりました。そのことについて、散文になってしまうと思いますが、書いてみたいと思います。

8 月 9 日はモデルイベント一日目でした。修士論文の中間発表を間近に控えていた私は、前日は学校に泊まりこんで、夜中の 3 時くらいまで中間発表の準備をしていました。予定では朝一の電車に乗って、青春 18 きっぷを使って愛知までいくつもりでした。しかし、研究室の固い床の上にも関わらず、しっかりと深い眠りに落ちて軽やかに寝坊。遅刻するわけにもいかないの、仕方なく新幹線を利用することにしました。新幹線のおかげでなんとか集合時間には間に合っ、現地に着くことができました。モデルイベントでは本番のつもりで真剣に臨んでみたものの、12 コントロール中、4 つ間違い。しかし、そのうちの 2 つは正解と思われる位置とは別のところに置いてあるポストが正解とされており、納得がいかない部分がありました。それは他の代表の人たちも感じているようでしたが、本番のコースではちゃんと納得が行くようにしっかり設置されているだろうと思い特に気には留めませんでした。モデルイベント一日目が終わり、日本代表の方々は蒲郡の宿へ。そして、私は一人で東京へ。だって、次の日が修士論文の中間発表だったんですもの。夜の 9 時頃に大学に着いて、その日も夜遅くまで発表準備。そして、9 日は朝一で教授たちにボコボコにされながらも質問に耐えしのび、なんとか発表を終えて、即愛知へ向かいました。10 日もモデルイベントがあったのですが、中間発表があったため、どうあがいても間に合わなかったため、参加できませんでした。その日は直接宿に向かい、オフィシャルの方からモデルイベントの地図をいただき、話をきいて翌日の対策をしました。

そして日が変わり、いよいよ本番の日を迎えました。私のスタートはラストだったものですから、ほかの日本代表の方々を見送りつつ準備をしていました。そんなとき、氏原さん(22 期)、井ノ川さん(22 期)、斉藤(23 期)、徳江(23 期)、坪居(24 期)が応援に駆けつけてくれました。さらに、平松さん(14 期)や奥田さん(16 期)もいらしてくれました。遠路遙々応援に駆けつけてくれたので、これはしっかり頑張らねばと気合が入った部分であります。そして、大勢の東工大 OB 軍団の応援の中、スタートしました。

レース開始後、すぐにタイムコントロール。ぱっと見簡単だったので、すぐに正解だと思っものを選択、結果、運営陣の思惑にはまるというなんとも情けないことに。でも、このときはそんなことは分かっていなかったため、意気揚々と次のコントロールへ。世界選手権 1 日目のコースですが、距離は 2km でコントロール数が 17 個、そして、タイムコントロールが 2 個でした。この日は基本的にはコンパスを重視し、確定点からコンパスを振れる場合には必ず振るようにしました。すると、地形や特徴物から推測されるポストとコンパスを振ってあたるポストが食い違うということがけっこうありました。散々悩んだ挙句、コンパスには主観が入らないことから、コンパスを振ってあたるポストを正



解としました。しかし、ゴールして会場に戻り、正解表をもらおうと、その選択がことごとく裏目に出てしまって結局 18 問中(ミス設置のため 1 問減)、12 問正解という散々な結果に。ほぼ同様のコースをまわった東工大 OB 軍団にもことごとく負ける始末。1 日目の順位は結局、39 人中 27 位でした。今思えば、モデルイベントで納得のいかなかったポストの中で、コンパスを振って当たったポストが正解でないというものがありませんでした。ここで、しっかり気に留めていればと今更ながらに悔やまれます。記念にということで、順位ボードの隣で写真をとってもらいましたが、テンション下がりがまくりの微妙な表情になってしまいました。二日目はこんな成績ではいけない、こんなのでは応援してくださっている方々に顔向けできないということで、宿に帰ってからオフィシャルや代表選手の方々と今日の反省をみっちりやりました。

日付が変わって、8月12日。泣いても笑っても今日が最後です。この日はスタートが早く、確か3番目のスタートだったと思います。この日は前日の反省を活かして、各コントロールで何が課題とされているかを十分に考え、地形や特徴物などからの推測を課題としていそうなコントロールに関しては、コンパスを重要視することをやめようと思っていました。この日のコースは距離が2.2kmでコントロール数が15個でタイムコントロールが2個の計17個。最初にまずタイムコントロールがありました。時間をかけてもしっかり正解を選んだほうが良いと前日から得た教訓がありましたが、じっくり考えた挙句間違えました。最後のタイムコントロールも間違えてしまったので、どうやら自分はタイムコントロールに弱いみたいです。それ以外のコントロールですが、課題となるものを考えながらやったのが功を奏して、15個すべて正解することができました。タイムコントロールの結果は散々でしたが、前日の雪辱はある程度できたのではないかと考えております。2日目の順位は39人中11位でした。そして、最終順位(二日間の合計順位)は33人中20位でした。

あっという間の4日間でしたが、その間いろんなことが体験できて楽しかったのです。また、日の丸を背負って戦うという貴重な経験もさせていただきました。今回の結果には正直、全然満足しておりません。日本人選手団の中で3位入賞の方がいる中、自分は20位でしたから。執筆時点では次に第二回全日本トレイルオリエンテーリング選手権大会が控えているので、その大会で少しでも挽回できたらと考えております。最後に、今回の世界選手権にあたり、応援に来てくださったり、奨励金を募ってくださったりとつばめ会の皆様方には大変お世話になりました。どうもありがとうございました。

おまけ：

トレイルオリエンテーリングとは、健常者と障害者が同じ土俵で戦えるように考えられたオリエンテーリングの種目です。地図に書かれた の位置にいくと、ポストが数個近接されており、その中で の中心にあたるポストを選び出すという競技です。競技者は道の上しか歩くことを許されていないため、ポスト群を遠くからみて判断しなければならないこともざらにあります。ポストの間隔は近いものでは1m以内ということもあり、ポストの位置を寸分違わず捉える力が要求されます。上級クラスには の中心にポストがひとつもない「正解なし」というコントロールもあるので、より難しくなり

ます。また、タイムコントロールと呼ばれるものがあり、これは地図を見てから正解のポストを判断するまでの時間を計るもので、正解のコントロール数が同じ場合には、このタイムが短い人が上位となります。世界選手権ではパラリンピッククラス(障害者クラス)と世界選手権クラス(健常者・障害者入り混じり)があり、パラリンピッククラスは一日目のみで最終順位を、世界選手権クラスは二日間の合計順位で最終順位を決めます。今回の大会では全参加者数は 39 人ですが、世界選手権クラスに参加したのは 33 人でした。

## 愛知インカレロング開催報告

11月6日に愛知県新城市にてインカレ・ロングディスタンス部門が開催されました。OLTでは2年の小山選手が10位、1年の柴本選手が27位を獲得しました。また、併設においても2年の村上巧選手がMUL1で2位を獲得しました。

愛知インカレロングホームページ

<http://www.orienteering.com/~icl2005/>

以下、OLT選手の成績です。

ME

10	小山 温史	1:31:43	東京工業大学	2
27	柴本 浩児	1:43:40	東京工業大学	1
32	北崎 茂	1:45:46	東京工業大学	4
53	岡 英樹	1:57:46	東京工業大学	4
57	高瀬 悠太	2:08:45	東京工業大学	3

また、つばめ会としてインカレロングのプログラムに応援広告を掲載しました。以下に掲載します。



## 部長の言葉

26期 松井弘毅

楽しかった2ヶ月間もの長い夏休みが終わり、再び1コマからの必修授業や実験レポートなどに振り回されるようになった今日この頃。それでもO L Tの部員一同、水曜日には水曜練と飲み会、日曜日には練習会や大会、そして来る10月22、23日の工大祭に向けた準備など、元気にやっております。

最近の部の様子について、もう少し報告させていただきます。1年生はもうだいぶ部になじんできてくれたように感じます。今年の1年生はオリエンテーリングの技術的にもなかなか期待できると思います。センスがいいと思われる者や、かなり走力のある者もいて、上級生としてもうかうかしているわけにはいかないなあ、と思う次第であります。

2年生に関しては、部の中心的な存在になりつつあります。火ランで主導権を取ったり、掲示板へ積極的に書き込みを行う点でも、それがよく分かります。11月9日には部長選を控えております。僕としては、2年生の誰が来年度の部長の役職に就くことになるのだろうという楽しみ半分、部長業の大変さを知る身としての心配半分といった心境です。

3年生に関しては、最近やや元気のない印象を受けます。各々勉強等で忙しいとは思いますが、運営学年としての自覚を忘れずに、部に積極的に関わっていくべきだと思います。

4年生は、研究室の雑務等で忙しい中でも、比較的よく部室に顔をだしてくれています。相変わらず25期の部への影響力は大きいなあ、と感心しています。これからも、よい上級生、そしてゆくゆくはよいOBあるいはコーチでいてほしいと思います。

さて、最後にオリエンテーリングの活動予定について報告したいと思います。10月29、30日のインカレロング直前合宿から始まり、翌週にインカレロング、その次にミドルセレ対策練、そして11月20日のミドルセレと毎週末に大きな大会や練習会が開かれます。今年度東工大O L Tはロングセレ通過者が関東最多(5人)という実績を誇ります。インカレロング本番もエリート、併設を問わず、東工大O L Tの部員各々が素晴らしい結果を残せるようお願いしつつ、文を締めくくらせていただきたいと思います。最後までお読みいただき、ありがとうございました。

## コーチの言葉

24期 坪居 大介

今年度も既に半分が過ぎてしまいました。

その間、ロングセレがあり、つい先日は愛知作手にてインカレロングがありました。

ロングセレでは関東トップタイとなる5名通過を果たし、インカレロングでは、小山君(2年)が10位になり、柴本君(1年)も27位で学連枠確保を果たしました。また、学連枠確保はならなかったものの、32位に北崎君(4年)が入りました。ロングディスタンスの成績としては、なかなかの好成績

であったといえるでしょう。一般併設にも、MULで村上巧君（2年）が2位に入りました。

そんな感じで好調な現役の皆とは対照的に、現在のコーチは紆余曲折の末、僕だけとなっています。先日行われた合宿でも、来てくださった臨時コーチの皆さんがいなかったらどうなっていたのか・・・といった状況です。やはりOB1年目と言うのは経験が圧倒的に足りず、何かをするたびに自分ってまだまだだなあと痛感しています。とはいえ、できるだけ部室に行き、現役の皆の様子を見てはいるつもりです。

そして、最近の皆の行動を見ていると、自分が1年生だったころとはだいぶ変わったなあと思います。もちろんその中には僕のみから見て良い変化も悪い変化も含まれているわけですが、やはりどちらにせよ「変わる」ということが重要なのかな、と思っています。やはり最初の一步を踏み出すのは非常に勇気の要ることでしょうし。

さて、もうすぐミドルセレがあり、3月には再び愛知作手においてインカレミドル・リレーが行われます。ミドルセレですが、今年は昨年度よりさらに関東全体で所有している枠が広がっていますし、東工大でも昨年のように通過者をまた大量に出したい、と思っています。そして、インカレミドル・リレーではA-finalに複数人進出、リレーでは3年ぶりの入賞を成し遂げたい、と思っています。そして、願わくは、今年も来年もリレーで入賞し、東工大初となるリレー連続入賞を狙っていきたいです。そして、それは昔のように厳しい目標ではなく、十分に達成可能な目標であると思っています。

とにかく、今も凄い勢いで東工大OLTは変わり続けています。その波に乗って、万年インカレリレーボーダー下という肩書きを変えられることができれば・・・と思っています。そして僕も、現役に対して、厳しいなりに少しでも多くの支援を与えることができれば・・・と思っています。

ぜひ、これからの東工大OLTに期待してください。OBの皆様にも、支援のほど、よろしく願います。

## 新幹事自己紹介

今年から2年間幹事を務めます。会員のみなさん、よろしくお願いします。

名前：浅野 昭（あさの あきら）

役職：会長

期：12（平成元年入学）

学科、専攻：無機材料工学科、材料科学専攻

過去の役職：OLT部長、つばめ会幹事長など

過去の実績：つばめ会の立ち上げ、名簿作りなど

つばめ会のみなさんへ：オリエンテーリングというきっかけで出会ったこの仲間。これから先も大切にしていきたいものです。

名前：岡部健志

役職：幹事長

期：21

学科、専攻：電気電子工学科、計算工学専攻

過去の役職：つばめ会広報部長、2002年度コーチ

過去の実績：2001年 OLT 杯 3位

つばめ会のみなさんへ：これから2年間つばめ会を運営していくことになりました。OBのみなさんの役に立つ会を目指していきますのでどうぞよろしくをお願いします。

名前：円井基史

役職：総務

期：19

学科、専攻：建築学科(学部)、環境理工学創造(大学院)

過去の役職：つばめ会幹事長・会計

過去の実績：インカレクラシック 13位、全日本選手権 4位

つばめ会のみなさんへ：今後ともよろしくをお願いします。

名前：井ノ川智史

役職：名簿局長

期：22

学科、専攻：機械宇宙学科、機械物理工学専攻

過去の役職：尊師 (あとは技術部とかコーチとか)

過去の実績：片道2時間通学を6年間 (あとは'02インカレ団体戦4位とか)

つばめ会のみなさんへ：俗なことをしては悟りが開けません。連絡先などに変更がありましたら是非ご一報を。

名前：田中淳一

役職：会計

期：23期

学科、専攻：情報工学科、計算工学専攻

過去の役職：大会係(2001年度)、東工大 OLT 部長(2002年度)、ヘッドコーチ(2004年度)、つばめ会事務局長(2004年度)

過去の実績：世界トレイルオリエンテーリング大会 20位

つばめ会のみなさんへ：使途不明金が出ないように仕事をしていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

名前：坪居 大介

役職：広報部長

期：24

学科、専攻：化学工学科化学工学コース卒・化学工学専攻

過去の役職：部長・2005年度コーチ

過去の実績：特になし。メダルもらったことないです。

つばめ会のみなさんへ：楽しめる情報を発信しようと思います。よろしくお願いします。

名前：鷹鷲和邦

役職：事務局長

期：24

学科、専攻：集積システム専攻

過去の役職：渉外

過去の実績：ICS&ICM 出場，彩の国大会 M20 2 位

つばめ会のみなさんへ：

今年の4月から働いています。任期は残すところ半年となってしまいましたが頑張っつばめ会を盛り上げて行きましょう!!

## 慶事のお知らせ

最近ご結婚が決まった方々がいらっしゃいますので、(こちらで把握している方々のみですが)お知らせいたします。

奥田 健史 さん (16期)                      2005年10月ご結婚

浅野 剛司 さん (21期)                      2005年10月ご結婚

奥田さん、浅野さん、ご結婚おめでとうございます。

Slope では今後も会員のみなさんのご結婚やご出産などのお祝い事をお知らせしていく予定です。情報がございましたら、つばめ会MLまたはつばめ会幹事までご連絡いただければ幸いです。

## 2005 年度つばめ会活動報告

年月日	イベント名	摘要
2004.12.4	第 8 回つばめ会総会,忘年会	
2004.12.4	会報 Slope(16 号)発行	
2004.12.25-27	OLT 冬合宿	OB がコーチとして参加
2005.1.9	全日本トレイル O 選手権	田中淳一(23 期)4 位
2005.1.10	全日本リレー選手権	円井基史(19 期)3 位(神奈川県)
2005.2.6	関東リレー	東工大 OB チーム出場 A:田中-菊澤-斎籐、B:奥田-平松-川俣
2005.2.25-27	東工大直前合宿	OB がコーチとして参加
2005.3.12-13	日光インカレ	プログラム応援広告掲載 サプリメント差入れ
2005.3.20	全日本選手権	松澤俊行(元コーチ)4 位 円井基史(19 期)10 位
2005.5.29	会報 Slope(17 号)発行	
2005.6.15	つばめ会幹事会事務局長	田中淳一(23 期)氏より鷹觜和邦(24 期)氏へ交替
2005.6.26	ロングセレ	プログラム応援広告掲載 サプリメント差入れ
2005.6.26	世界トレイル O 選手権日本代表選手選考会	田中淳一(23 期)選出
2005.8.11-12	世界トレイル O 選手権	田中淳一(23 期)出場 田中選手へつばめ会より激励金
2005.9.11	つばめ会(非)公式ツーリング	数名が東京から秩父を自転車で往復
2005.9.16-18	OLT 秋合宿	OB がコーチとして参加
2005.10.2	OLT 杯	新人杯賞品提供、OB 多数参加
2005.10.9	浅野剛司氏(21 期)結婚式	つばめ会より祝電
2005.10.29-30	インカレロング直前合宿	OB がコーチとして参加
2005.10.30	奥田健史氏(17 期)結婚式	つばめ会より祝電
2005.11.6	インカレロング	プログラムに応援広告掲載 サプリメント差入れ

一部、有志による活動を含んでいます。

また、有志の活動は、全てを網羅できていないと思われます。

## ML・ホームページについて

つばめ会会員間の連絡手段の1つとしてつばめ会ML(メーリングリスト)を立ち上げています。大会情報・観戦記、同期会・飲み会の連絡、近況報告など、お気軽に使ってください。メールアドレスは [tsubame@egroups.co.jp](mailto:tsubame@egroups.co.jp) です。ご不明な点がございましたら、管理者の仁多見剛氏 ([tsubame-owner@egroups.co.jp](mailto:tsubame-owner@egroups.co.jp))までご連絡ください。このML に関するホームページ(登録メンバーのみ) <http://www.egroups.co.jp/list/tsubame> にもぜひアクセスしてください。また、つばめ会のホームページが稼動中です。ぜひご覧ください。

つばめ会のホームページ(作成者:岡部健志(21期))

<http://www.geocities.co.jp/Athlete/4476/>

東工大OLT のホームページ(作成者:糸永幸平(26期))

<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Labo/3247/>

## 編集後記

さて、2年間広報としてSlopeを出し続けてきましたが、今回で自分が発行するSlopeは最後になりました。ひとまず2年間無事に出すことができほっとしています。とはいえOBの近況報告など新しい風を入れようとしたものの結局根付くことが無く、また広報としてつばめ会の活動を外に対して宣伝できたか、という点についても悔いが残ります。計らずもこの先幹事長を務めることになりました。広報として感じたことをこれから2年間いかしていければよいと考えています。

次回からは24期の坪居君が会報を発行します。その大らかな心と広い人脈で、より良いSlopeを作ってくれるでしょう。それでは！

東工大オリエンテーリング部OB/OG 会「つばめ会」会報

Slope 18号

発行責任者 円井 基史

編集責任者 岡部 健志